

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だより No. 8

2020年1月27日発行

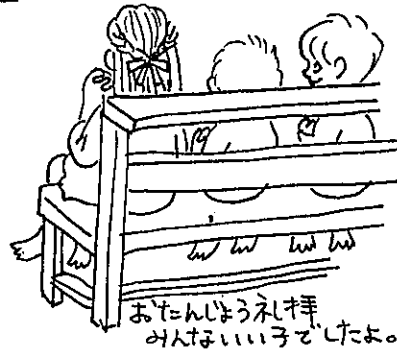
1月の聖句『新しい歌を主に向かって歌え』

こどもたちは、新しさを発見する名人です。見るもの、聞くもの、触れるもの…すべてに新しさを発見して、目を丸くし、声ははずませます。

宗教的感性も優れています。祈る姿はほんとうに美しいのです。

こどもから学ぶこと、幼稚園という共同体に連なる者にとって、大切なことと受け止めています。

チャプレン 司祭 池田亨



おたんじょうれ様
みんないい子でしたよ。

冬休み、目の健康は大丈夫？

お子さんは物をあぐく近くで見ていることありませんか？ スタイホームで大人も子供も視力の悪化が



過去最悪レベルに近づいています。30センチよりも近くで長時間つづけてものを見ている生活が原因です。

1/24(日)NHKで再放送された「近視の常識が変わる！」以前、川村るなちゃんのお母さんから資料を頂きました(裏面参照)

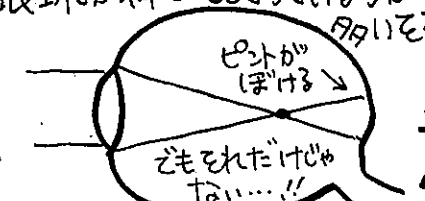
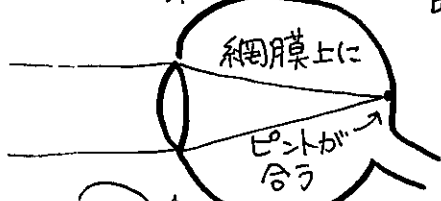
私も昔からPCの仕事が多いせいか強度の近視...



さらに緑内障になり視野が狭くなっています。進行し失明するのを防ぐため毎日目薬をさしています。この薬は目の周りが黒くなるので目まげが伸びるのです。わからないで下さい。

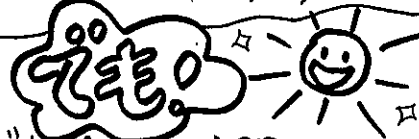
健康な眼球

今日子どもも強度近視になって眼球が伸びてしまっている子が



せっかくいい目をもらって生まれたから大切にしたいですね。

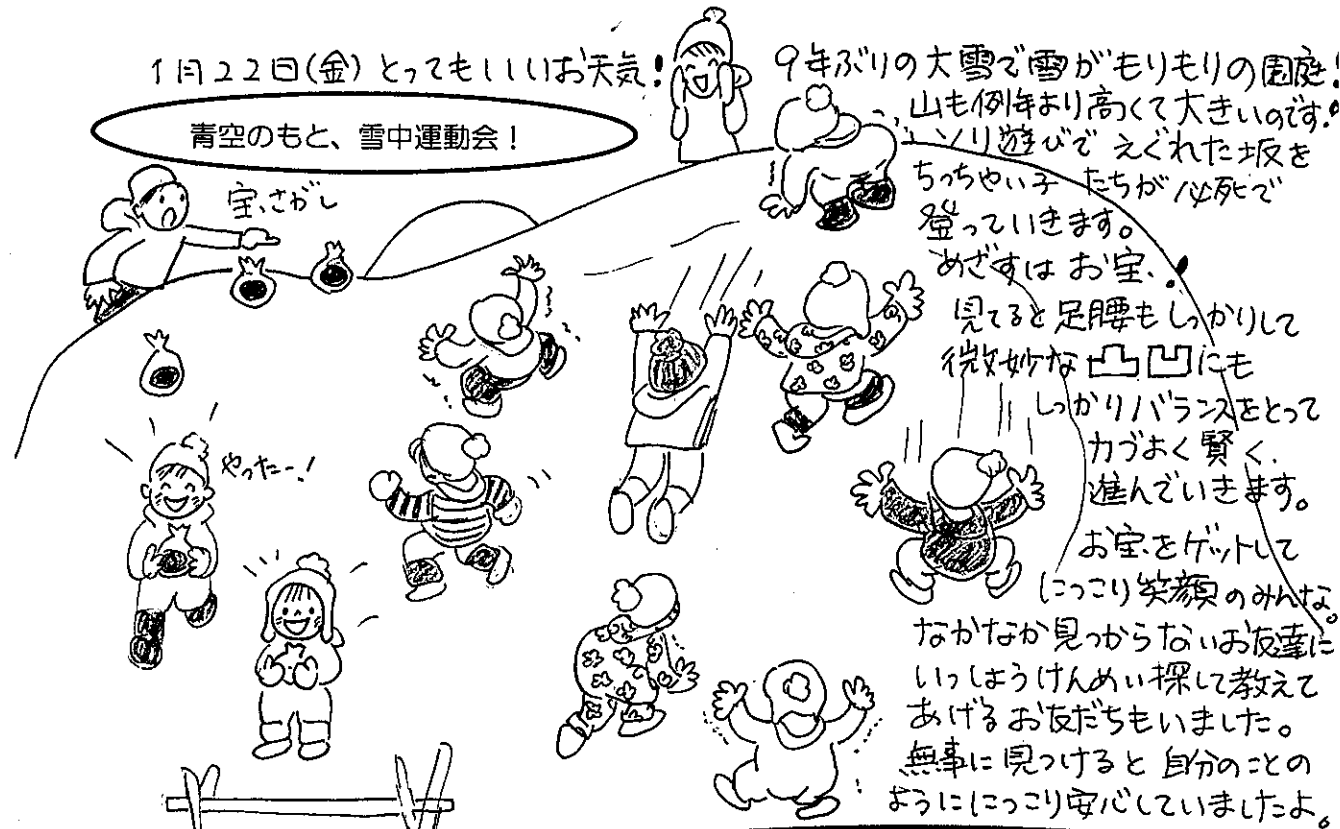
眼球が伸びると網膜や視神経が傷ついて緑内障や網膜剥離など失明につながる病気を発症しやすくなるそうです。



毎日2時間以上外遊びをして、おひさまの光にたくさん含まれるバイオレットライトを浴びた子は!! 成長してからも近視にはなりづらいというのです。子ども時代の外遊び重要ですね

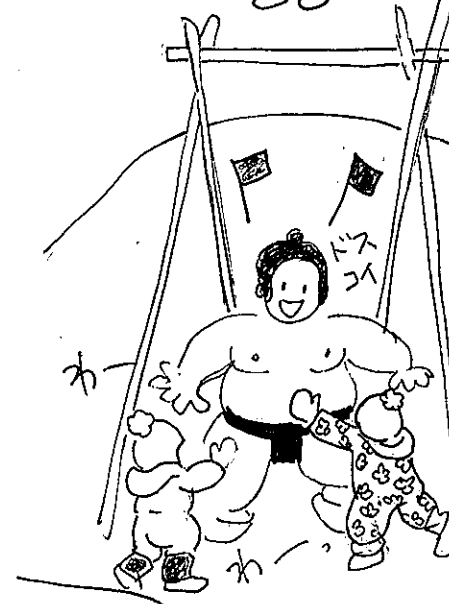
1月22日(金)とってもいいお天気!

青空のもと、雪中運動会!



9年ぶりの大雪で雪がもりもりの園庭! 山も例年より高く大きいので、ソリ遊びでえぐれた坂をちっちゃい子たちが必死で登っていきます。めずはお宝! 見ると足腰もしかりして微妙な凹凸にもしかりバランスをとってかよく賢く、進んでいきます。お宝をゲットして(にっこり)笑顔のみんななかずか見つからないお友達にいっしょうけんめい探して教えてあげるお友だちもいました。無事に見つけると自分のこのようににっこり安心していましたよ。

かよこ山の登場にみんなびっくり!



宝探しのあとは、年少さんひよこさんちゅうりっぷさんは尻すべり、年中さんと年長さんは旗とり大会です。(大喜びでした) 年長さんの旗とりのとき、とつぜんかよこ山があらわれました。今年は端午の節句のすもも大会が待ってたんですか? まさか雪の園庭に現れるとは! 先生方のディフェンスも手ごわいよ。

道ゆく車の皆さんの顔をお見せしたかったです。首は完全90度こっちに金づけ、まっまるな目でびっくりしてました。事故がおこらなくてよかった〜

学校評価の保護者アンケート、たくさんの方が本当に熱い思いを、たくさん書いて下さいました。ありがとうございました。特に子どもの変化について、ほほえましいエピソードがいっぱい書かれていて、読むのは大変かもしれませんが、ぜひみなさんと共有したいと思っています。先生方も「おうちでお父さんお母さんに、こんなにお話してるんだ!」「おうちでもお祈りしてるんだね」と、とても楽しく読ませていただきました。改善点も具体案を書いて下さる方が多くて、とても建設的だと嬉しく思っています。相手の立場を想像しながら協力したり工夫すれば、多くの課題が解決できると感じています。どうか今後ともよろしくお祈りします。